



# ちばの学童保育

2013年11月17日発行98号

本号の紙面	1頁
全国学童保育研究集会報告	2頁
全国研参加者より	3頁
情勢／ほいく誌紹介	3頁
新人研報告 他案内	4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内  
TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

## 第48回 全国学童保育研究集会 in 岡山

2013年10月5(土)6(日)の2日間、全国学童保育研究集会が岡山県で盛大に開催されました。今年は千葉県より39名の参加、全国より4262名が集いました。今回は開催した岡山県の保護者や指導員、その他の多くの学童保育関係者の熱い思いと働きにより、47都道府県すべての地域からの参加となりました。全国学童保育連絡協議会会長より「子ども・子育て支援新制度」施行を直前に「より良い学童保育の実現」に向け、2日間語り合ひましょうと挨拶があり、特別報告では岡山県の指導員その他、東日本大震災で被災した地域(岩手県・宮城県・福島県)の指導員から子どもに寄り添う大切さ、指導員の専門性の必要性の話はどれも説得力がありました。藤田富士也氏(子ども家庭教育フォーラム代表/教育・心理カウンセラー)による記念講演は、甘えることは他者を信じる勇気があることであり、子どもの頃大人に受け止めてもらえなかった大人は、甘えることができません。だから、子どもには手間をかけ、しっかり向き合うことが大切です。親も指導員も子どもの苦しみ悲しみを実際に代わってあげることができませんが、「傍らで聞く」ことができるのが学童保育の仕事であり、無価値なことではありません。講演中、ジャンケンをしたり、歌をうたい、笑いながら、子どもだけでなく大人としての自分を振り返ることができ、楽しくためになる講演でした。そして2日目は、岡山大学で42の分科会に分かれて学習し、交流しました。



桃太郎アリーナ会場内



桃太郎アリーナ：受付の様子



全体会：400名の子どもの歓迎行事

## 全国研に参加して

### ●四街道市学童保育父母の会会長 鈴木美樹

今年度役員になり、初めて全国研に参加させていただきました。指導員の先生8名と保護者3名の合計11名で賑やかに行くことができました。

岡山駅から会場の桃太郎アリーナまではタクシーに乗ったのですが、お揃いのTシャツやジャンパーを着た方たちの歩く姿が沢山見え、(なんだかすごい所に来てしまったかも?)と思いながら会場に入ると、身動きが取れないほど沢山の人・人・人で完全に圧倒されてしまいました。なんとか受付を済ませ、アリーナ内に入ると顔出しパネルやご当地ゆるキャラがお出迎えしてくれ、一気に緊張がほぐれました。歓迎行事のステージは沢山の子どもたちの息の合ったボディパーカッションや歌に感動しました。雨の中での会場案内や子供達の手作りしおりなど、岡山の方達のお・も・て・な・しの心を存分に感じました。

二日目の分科会は岡山大学で行われ、校舎と校舎の間では学童に関する書籍やルーム内で使えるような仕掛け絵本が沢山売られていて、目移りしてしまいました。奥ではお土産も売っていて、子供達へのお土産を真剣に選んでいる指導員の先生方で大盛況でした。



分科会会場：岡山大学

会長を仰せつかっていることもあり、国の動きなどをしっかり勉強してこなくては!と思い参加しましたが、1日目の東日本大震災で被害を受けた東北の指導員の先生の話や記念講演の富田富士也先生の話にも感銘を受けました。他の地域の活動を聞いて、自市の活動の足りないところ、良いところを確認でき、今後の父母の会活動のヒントをもらった気がします。働く親として聞いてみたいと思う分科会もあり、また機会があれば参加したいと思いました。普段は会えない他ルームの先生や、お迎えの時に少し話をするだけの先生たちと沢山話をするのができ、とても楽しくあっという間の二日間でした。



岡山県マスコット「ももっち」「うらっち」

### ●白井市清水口学童保育所指導員 松崎和美

岡山で行われた第48回全国学童保育研究集会へ参加してきました。1日め、岡山駅に着くなり、あの人たちは学童の指導員や保護者だろうなあという人たちがたくさんいてにぎやかでした。会場へ着くと、岡山の人たちの熱い思い、参加者の熱気に溢れていました。全体会は、かわいい子ども達の歓迎行事と、息の長い支援を忘れてはいけないという思いを新たにされた被災地からの特別報告、おもしろく勉強になった記念講演など盛りだくさんの内容でした。2日目の会場の岡山大学も岡山の人たちのパワーはもちろん、全国研の熱気に溢れていました。たくさんの分科会がある中、どんな分科会を選ぶかも楽しいですが、分科会の中で参加者である指導員や保護者の方のお話を聞いたり、意見交換することが私の全国研参加の大きな楽しみです。他県の人達と話せる貴重な機会であり、全国各地の学童の運営形態、保育内容等に驚いたり、同じ悩みに共感したりしました。また、分科会が終わった後、他の分科会に参加した指導員から「この分科会はどうだったよ」といろいろな話を聞くことができ、そこでもたくさんの学びや気づきがありました。全国研に参加して、学童を熱く思うたくさんの方々のパワーと刺激を受けて帰ってきました。これを今後の保育にぜひ生かしていきたいと思います。



## 学童保育をめぐる最近の動き



各地域で「地方版 子ども・子育て会議」が開催されていますが主だった内容は、保育園・幼稚園の話題が中心となり、国から未だ明確に基準が示されていない学童保育に於いては、実質的な議題は無くニーズ調査のみ先行する形となっています。このニーズ調査の必修項目に大した制度説明も無いまま「放課後子ども教室」の利用について希望の利用頻度を聞いています。

また文科省が「子ども・子育て新システム」に放課後子ども教室が組み込まれていない事を問題視し、学童保育と一体的運営を推進する方策を検討しています。この制度が打ち出されると学童保育を理解していない自治体は費用の少ないメリットを重視し、制度を安易に取り込む可能性が懸念されます。

全国学童保育連絡協議会では、第2弾「子ども・子育て新システム」についての学習リーフレットを作成しました。2014年度からは具体的に条例が制定されます。そこで各地域で「子ども・子育て新システム」について学習し、より良い学童保育の条例制定のために行政や議員に働きかけて行く必要があります。地域の学習には県連協もお手伝いしますので是非お声を掛けて下さい。

## 日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



11月号表紙

11月号特集『学童保育指導員の仕事』です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 今回の特集は「学童保育指導員の仕事」です。指導員は子どものそばに寄り添うことを、悩み時には苦しみながらも日々支えてくれています。また、子どもだけでなく保護者の支えにもなり安心できる「生活の場」を守ってくれています。そのような指導員と巡り合えた保護者の気付きと感謝の気持ちもわかります。指導員と保護者も共に「指導員の仕事とは何か」「学童保育とは何か」を考えてみましょう。

# 第11回千葉県学童保育指導員新人研修会

今年 は 10 月 13 日(日)茂原市中央公民館と 10 月 20 日(日)船橋市民勤労福祉センターで 2 週にわたり新人研修会を行いました。

茂原市は 46 名、船橋市には 59 名が参加。今回のテーマは、学童保育指導員でもある鈴木美加氏による『指導員の基本的な仕事～記録と評価』でした。当日は講義を聞いているだけとっていたら、周りの人と意見交換したり、列ごとに発言を求められたり、緊張感と笑いのある進行で、いつしかテーマの核心である話に引き込まれていきました。学童保育での保育環境・指導員労働条件の問題にもふれながら、指導員の仕事である「生活づくり」のための「記録」がなぜ必要であるのか。記録をいつ・どのように・何に書くのか。記録の仕方など、実際にその場で体験することもでき、記録は重要であるからこそ、できることから少しずつ実践してみようと具体的に思えるような講義でした。



※船橋市での開催は、会場が急遽変更となるトラブルがありました。参加者には迅速に対応していただき、ご協力頂いた感謝と、ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び致します。

## 第33回千葉県学童保育指導員学校

2013年12月1日(日) 四街道市文化センター

受付 9:30～ 午前講座 10:00～ 昼食 12:30～ 午後講座 13:30～ 閉会 16:00

今回も午前・午後で 10 講座を計画しました。1 日を有効に、研修にお役立てください。

講座内容や申し込み等詳しくは、チラシでご確認ください。

## 第37回千葉県学童保育研究集会

2014年2月16日(日) 船橋市中央公民館

研究集会は学童保育の充実のため、保護者・指導員が協力しながら、学童保育に関わるさまざまなテーマについて交流し、学習をします。誰かがつくり、誰かが研修する研究集会ではなく、保護者・指導員が共に交流する場を、共に作り上げる研究集会です。今年も各地域から実行委員が選出され第 1 回実行委員会が 9 月 1 日(日)に行われました。これから、当日のお手伝いもそれぞれの地域にお願いすることがありますが、皆様のご協力をお願いします。